

専門実践教育訓練明示書(1/3)

施設の名称	大橋医療高等専修学校	指定講座番号	61050-191001-9
		実施方法	通学(昼間)
講座の名称	准看護師養成学科	講座の創設年月日	平成28年4月1日
		専門実践教育訓練給付金対象講座の指定期間	2022.3.31

1. 教育訓練の概要			
(1)訓練期間	24ヶ月	(2)総訓練時間	2,006時間
(3)1回当たり定員	40人		
(4)修了者数	34人		

2. 教育訓練目標	
①取得目標とする資格の名称、目標レベル	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 業務独占資格・名称独占資格 (准看護師) <input type="checkbox"/> 職業実践専門課程 () <input type="checkbox"/> 専門職学位 () <input type="checkbox"/> 職業実践力育成プログラム () <input type="checkbox"/> 情報通信技術関係資格 () <input type="checkbox"/> 第四次産業革命スキル習得講座 () <p>教育訓練を通じて取得を目指す上記以外の資格等</p>
②①に係る資格・試験等の実施機関名称	各都道府県
③当該資格等を取得するための要件または受験資格等	規則で定める基準に適合するものとして、厚生労働大臣の指定した看護師養成所を卒業した者。
④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されている業界と活用状況	准看護師は、平成28年末現在で約32万人が就業しており、就業場所としては、約4割は病院勤務、約6割が診療所や訪問看護ステーション、社会福祉施設、介護保険施設等で勤務しています(厚労省資料より:平成28年衛生行政報告例(就業医療関係))

3. 受講者となるための要件(この講座を受講するために必要とされている条件など)	
①受講するに当たって必要な実務経験等	特に無し
②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準	中学校卒業程度の学力
③その他	

4. 教育訓練の内容		
教科 (カリキュラム)	時間	使用教材名
基礎科目(国語、英語、家政学、体育)	108時間	個別教材
専門基礎科目(人体のしくみと働き、食生活と栄養、薬物と看護、疾病の成り立ち、感染と予防、看護と倫理、患者の心理、保健医療福祉のしくみ、看護と法律)	396時間	メヂカルフレンド社 看護学入門
基礎看護(看護概論、基礎看護技術、臨床看護概論)	324時間	メヂカルフレンド社 看護学入門
成人看護	140時間	メヂカルフレンド社 看護学入門
老年看護	144時間	メヂカルフレンド社 看護学入門
母子看護(母性の看護、小児の看護)	72時間	メヂカルフレンド社 看護学入門
精神看護(精神保健、精神障害者の看護)	72時間	メヂカルフレンド社 看護学入門
臨地実習(基礎看護、成人看護、老年看護、母子看護、精神看護)	750時間	実習
合計	2006時間	

[特記事項]

専門実践教育訓練明示書(2/3)

5. 教育訓練の受講の実績及び目標達成の状況

(1) 資格取得状況

① 前年度の修了者数	34	人			
② ①に係る教育訓練の入講者数	34	人			
③ ②のうち目標資格の受験者数	34	人	受験率(③/②)	100.0	%
④ ③のうち合格者数	34	人	合格率(④/③)	100.0	%
⑤ ①(修了者数)のうち就職者数 ※1	24	人			
⑥ ①(修了者数)のうち在職者数 ※2	4	人			

※1 前年度の修了者のうち、受講開始時に職に就いていなかった者で修了後に就職した者。

この場合、就職したとは、臨時的な仕事に就職した者は含まない。

※2 受講開始時に既に職に就いていた者で、卒業後も引き続きその職にある者及び受講開始時に既に職に就いている者で、修了後に別の職に転職した者。

(2) 受講修了者による講座の評価等

① 回答者総数		33	人		
② 受講開始時の就業状況等	1 正社員	15	人		
	2 非正社員、派遣社員	9	人		
	3 その他の就業(自営業等)	3	人	27人	
	4 非就業	6	人	②B: 非就業者計	
③ 就業中の受講者による講座の評価	1 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立つ	11	人	③の回答数合計 ※②Aと同数(又はそれ以下)	
	2 配置転換等により希望の業務に従事できる	3	人		
	3 社内外の評価が高まる	0	人		
	4 円滑な転職に役立つ	4	人		
	5 趣味・教養に役立つ	3	人		
	6 その他の効果	5	人		
	7 特に効果はない	1	人		27人
④ 就業していない受講者による講座の評価	1 早期に就職できる	3	人	④の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	
	2 希望の職種・業界で就職できる	1	人		
	3 より良い条件(賃金等)で就職できる	0	人		
	4 趣味・教養に役立つ	1	人		
	5 その他の効果	1	人		
	6 特に効果はない	0	人		6人
⑤ 受講者の就業状況	1 受講中又は受講修了後3か月以内に就職した	5	人	⑤の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	
	2 受講修了後3～6か月以内に就職した	0	人		
	3 受講修了後6～12か月以内に就職した	0	人		
	4 就職していない	2	人		6人
⑥ 講座の全体評価	1 大変満足	8	人	⑥の回答数合計 ※①と同数(又はそれ以下)	
	2 おおむね満足	21	人		
	3 どちらとも言えない	3	人		33人
	4 やや不満	0	人		
	5 大いに不満	0	人		

6. 教育訓練の受講による効果の把握及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法

1)に掲げた教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の把握・測定方法

学修成績評価は、授業科目終了試験後重点的に行う。演習や実技を伴う授業科目は、レポート等適切な方法で評価する。また、臨地実習等の実習授業科目は、実習指導者及び担当教員が実践状況、実習に係る諸記録、レポート及び実習態度により総合的に評価する。

(通信制講座の場合)
スクーリングの実施場所、時期、期間・回数

専門実践教育訓練明示書 (3/3)

7. 受講効果の把握方法															
(1) 受講認定基準 (6ヶ月ごとの出席率・定期試験、進級試験等の具体的基準)	授業科目(実習を含む)について、出席すべき時間数の3分の2以上出席しなければ、評価の対象とはならない。														
(2) 受講認定基準に係る、教育目標に対する技能・知識のレベル到達度把握・測定方法	学修成績評価は、授業科目終了試験後重点的に行う。演習や実技を伴う授業科目は、レポート等適切な方法で評価する。また、臨地実習等の実習授業科目は、実習指導者及び担当教員が実践状況、実習に係る諸記録、レポート及び実習態度により総合的に評価する。														
(3) 修了認定基準 (出席率・修了認定試験等の具体的な基準)	学則に定める教育課程に規定する授業科目すべてを履修することが必要である。未履修科目がある場合は卒業の対象とならない。														
(4) 修了認定基準に係る、教育目標に対する技能・知識のレベル到達度把握・測定方法	学習の評価は、A: 80点以上、B: 70点以上、C: 60点以上、D: 60点未満かつ出席時間数が実授業時間数の3分の2未満とする。各学年末に学修成績評価会議を行い、授業科目の修了の認定、卒業の認定を行う。														
8. 受講中又は修了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法															
(1) 受講中の者に対する習得度・理解度に関する具体的な助言・指導の方法	未修得者への再試験・再々試験実施及び学習方法等の個別面談指導実施														
(2) 受講中又は修了時における資格取得・就職への具体的なバックアップ体制 (例: 資格取得関連情報や資格関連職種の人情情報の提供方法、早期就職に向けた具体的な相談体制の整備状況)	資格取得対策講座の開講(カリキュラム以外に実施)														
9. その他の事項															
指定教育訓練実施者名及び代表者名	学校法人愛輪学園		(代表者名: 大橋 ひとみ)												
住所及び連絡先	埼玉県川口市栄町2-7-16		TEL 048-227-8888												
施設名称及び施設長名	大橋医療高等専修学校		(施設長: 大橋 ひとみ)												
住所及び連絡先	埼玉県川口市栄町2-7-16		TEL 048-227-8888												
苦情受付者	氏名 小玉 堅太郎 所属 事務局	事務担当者	氏名 小玉 堅太郎 所属 事務局												
連絡先	TEL 048-227-8888	連絡先	TEL 048-227-8888												
専門実践教育訓練経費 支払い方法	1. 専門実践教育訓練給付金の対象となる経費 (① + ②)		2,700,000 円												
① 一括払	① 入学料(税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)		300,000 円												
② 分割払	② 受講料(税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;"></td> <td style="text-align: right;">2,400,000 円</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black;">第1期</td> <td style="text-align: right;">835,000 円</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black;">第2期</td> <td style="text-align: right;">405,000 円</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black;">第3期</td> <td style="text-align: right;">755,000 円</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black;">第4期</td> <td style="text-align: right;">405,000 円</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black;">(うち、必須教材費</td> <td style="text-align: right;">80,000 円)</td> </tr> </table>		2,400,000 円	第1期	835,000 円	第2期	405,000 円	第3期	755,000 円	第4期	405,000 円	(うち、必須教材費	80,000 円)	
	2,400,000 円														
第1期	835,000 円														
第2期	405,000 円														
第3期	755,000 円														
第4期	405,000 円														
(うち、必須教材費	80,000 円)														
③ 両方可能	2. 専門実践教育訓練給付金の対象外となる経費 (① + ② + ③ + ④)		770,000 円												
	① 任意の教材費(税込額)		60,000 円												
	② 実習等に伴う交通費・宿泊費(税込額)		50,000 円												
	③ 施設維持費(税込額)		600,000 円												
	④ その他(法人への寄付金、PCの損害保険料、情報誌代)(税込額)		60,000 円												
	3. 総額 (1+2) (税込額)		3,470,000 円												